

cloud-all くらうどーる 連載 13th



Office 365の訴求力が格段にアップ!

Microsoft FormsとMicrosoft Flowで 生産性向上を図る

Office 365は、ExcelやWordといった誰もが知るオフィスツールを含め、20種類以上のアプリを利用できる。いずれも生産性が格段にアップする便利なアプリだ。その中から今回は、「Microsoft Forms(以下、Forms)」と「Microsoft Flow(以下、Flow)」という2つのアプリを紹介する。Office 365を拡販する際の提案内容に加えれば、訴求力は確実に高まるはずだ。

Business Premiumの2つのアプリで Office 365のアップセルを推進

Office 365は、ExcelやWord、Power Pointなどの定番アプリ以外にも、多種多様な便利なアプリを利用できるメリットがある。その数は、実に20種類以上におよぶ。その中には、まだあまり知られていないものもあるが、いずれも生産性向上や共同作業の効率化に即座に役立つものばかりだ。

パートナー様がOffice 365のビジネスを拡大するためには、新規契約の獲得は必須である。あわせて下位のプランを契約しているエンドユーザー様に、上位プランのBusiness Premiumへの移行を促すことでアップセルにつなげることも重要なポイントだ。それにより単にパートナー様の毎月の売上が増えるだけでなく、エンドユーザー様はより多くの便利なアプリを利用でき、生産性の向上や満足度アップが期待できる。

そこで、Business Premiumで利用できる2つのアプリに焦点を当てて詳しく紹介したい。Office 365のBusiness Premiumを拡販する際



※上記は主なアプリケーションです

に、ぜひ提案内容に組み込んでいただきたい。

最初に紹介するアプリは、電子化されたアンケートフォームをわずか数分で作成できるFormsだ。最大の特長は、ウィザードの指示に従って、アンケートの質問項目や選択肢の内容を入力していくだけで、誰でも簡単にわかりやすいアンケートフォームを作成できること。完成したアンケートフォームは、URLやQRコードを通じて回答者に配信することが可能で、収集した回答結果は即座に集計して分析できる。これにより、アンケートの作成や集計作業が

一気に軽減され、マーケティング活動が効率的に行えるようになる。

もう一つの注目すべきアプリが、日常業務で定常的なタスクを簡単に自動化できるFlowである。最大の特長は、プログラミングなどの専門的な知識がなくても、「トリガー」と「アクション」という2つの項目から必要なタスクを選択するだけで、誰でもすぐにタスクを自動化できることだ。マイクロソフトのアプリはもちろん、他社のツールやSNSと連携させることも可能なので、その活用範囲は無限に広がる。

Tips.1

Forms

Webアンケートの作成・集計作業を効率化する

ここ数年、セミナーや展示会来場者へのアンケートにWebアンケートを採用するケースが増えている。アンケート用紙の印刷や回収後のデータ入力の手間が省け、手書きと比べて書き間違いや読み間違いが生じにくいなどの利点がある。その反面、Webアンケートの作成や実施には、新たなツールの導入や、Webサイトを準備する必要があるため、二の足を踏むエンドユーザー様も少なくない。

Formsを活用すれば、そうした問題は速やかに解決する。誰でも簡単にWebアンケートを作成し、その集計まで一元的に行えるからだ。アンケート

フォームの作成は、ウィザードの空欄に質問項目や選択肢を入力していく形で行い、複数回答の可否や解答必須項目の設定も可能。回答形式もテキスト入力とレーティング評価を選択できる。アンケートの質問の順番も簡単に入れ替えられ、質問番号も自動で正しいものに修正されるため、作業効率が格段にアップする。

一般的にセミナーのWebアンケートは、参加者へアンケートフォームのURLが記載されたメールを後日送信して回答してもらうケースが多い。Formsでは、セミナー会場で配布した資料にアンケートフォームのリンク先のQRコードを

表示し、参加者がその場でスマートフォンなどからアクセスして回答してもらうことも可能だ。それにより、アンケートの回収率の向上にもつながる。

アンケートの集計結果は、Formsの管理画面上にある「回答」をクリックすることで即座に表示される。そのデータは、SharePoint OnlineのドキュメントライブラリにExcelファイル形式で保存されるので、Excel上で加工して高度な分析もできるようになる。

Formsは、セミナーのアンケート以外にも、目的に合わせて様々な用途で活用できるので、その導入メリットは極めて大きいといえる。

●フォーム作成画面

空欄に質問と選択肢を入力しアンケートフォームを作成。テキストでの自由回答などの設定も画面上で行える

●回答形式

回答形式は選択肢のほか、レーティングによる回答も選択できる

●プレビュー機能

画面右上の「プレビュー」をクリックすると、PC画面とスマートフォンに表示されるフォームを確認できる



●集計画面

画面右上の「回答」のタブをクリックすると、アンケート結果が表示される

Formsで作ったアンケートを体験しよう！



Formsを使って読者アンケートを作成してみました。回答して実際の見え方などをぜひ体験してみてください。

Tips.2

Flow

特定のアカウントからメールが届いたらプッシュ通知を受け取る

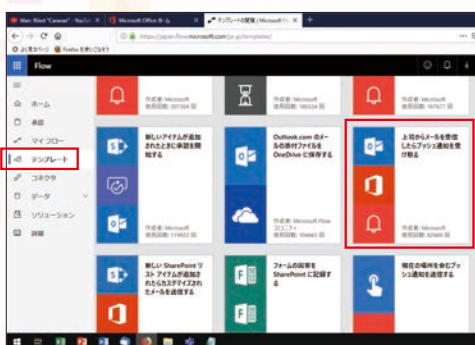
仕事用のメールアカウントには、毎日大量のメールが届くことも珍しくない。新着メールが次々に届くような状況では、すべてのメールを順番に確認するのはとても効率が悪く、上司からの重要なメールを見落としかねない。その解決には、あらかじめ登録したアカウントからのメール受信をスマートフォンなどにプッシュ通知する仕組み

を構築することが効果的だ。アプリケーション間のワークフローを作成し、タスクを自動化するFlowを活用すれば、その仕組みを容易に構築できる。

具体的には、Flowのウィザードに従い、「トリガー」と「アクション」を順番に設定し、目的のフローを作成する。前述のケースでは、「上司からメールが届いたらプッシュ通知を受ける」がトリガーとなり、

「スマートフォンに通知する」がアクションということになる。

その際、「トリガー」と「アクション」を一から設定する必要はない。Flowには、日常業務で役立つ多様なテンプレートが用意されているので、その中から実行したいものを選択することで、誰でも簡単にタスクを自動化できる。



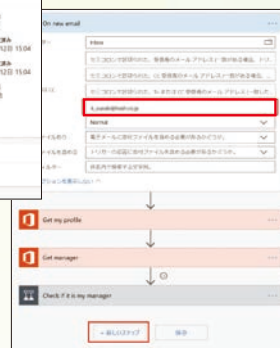
① ホーム画面左の「テンプレート」をクリックし「上司からメールを受け取ったらプッシュ通知を受け取る」を選択



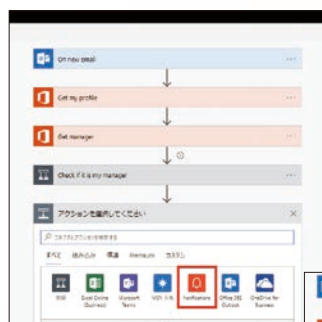
② 「フローの作成」をクリック



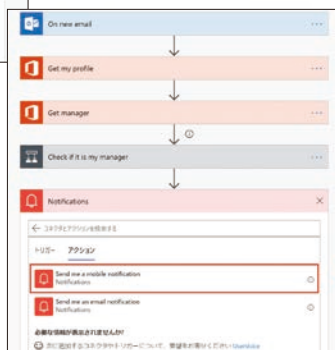
③ 左上の「編集」を選択



④ 開始のところに上司のメールアドレスを入力。さらにスマートフォンで通知を受けるために「新しいステップ」を選択



⑤ 「Notifications」を選択



⑥ 「Send me a mobile notifications」を選択



⑦ 「text」の部分に表示する文字を入力



⑧ 通知して欲しいスマートフォンに「Flow」アプリをインストール。上司からメールが届くと、プッシュ通知が表示される

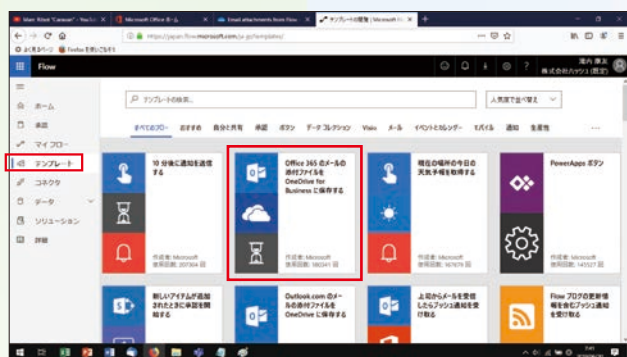
Tips.3 Flow

メールの添付ファイルをOneDrive for Businessに保存する

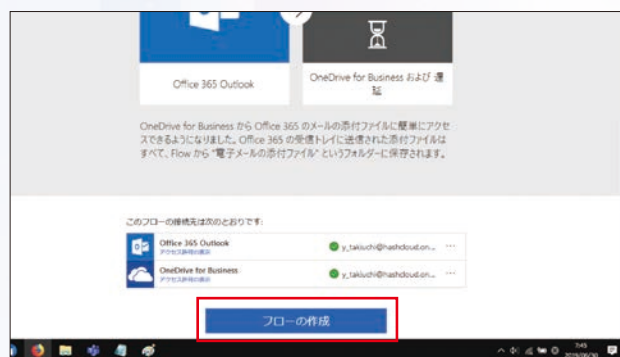
メールの添付ファイルは、一般的にPC内のストレージにコピーして保管するケースが多い。だが、添付ファイルを右クリックして移動先を指定したり、ドラッグ&ドロップで移動する作業は意外

と手間取るものだ。Flowには、「Office 365 Outlookのメール添付ファイルをOneDrive for Businessに保存する」というテンプレートがあらかじめ用意されている。それを選択して「フローの作成」

をクリックするだけで、タスクを自動化できる。テンプレートに頼らず、Flowのコネクタ機能を利用すれば、添付ファイルの保存先に他のクラウドストレージを選択することも可能だ。



テンプレートの中から「Office 365のメールの添付ファイルをOneDrive for Businessに保存する」を選択



「フローの作成」をクリックするだけで添付ファイルをOneDrive for Businessにコピーするフローが有効化される

Tips.4 Flow

自社サービスや競合製品に関するツイートを自動で収集する

Flowで特筆すべきポイントは、Office 365のアプリに留まらず、他社の多様なアプリやサービスを組み入れることだ。

SNSのTwitterもその一つ。Flowのメニュー画面からコネクタをクリックし、Twitterを選択すれば、ツイー

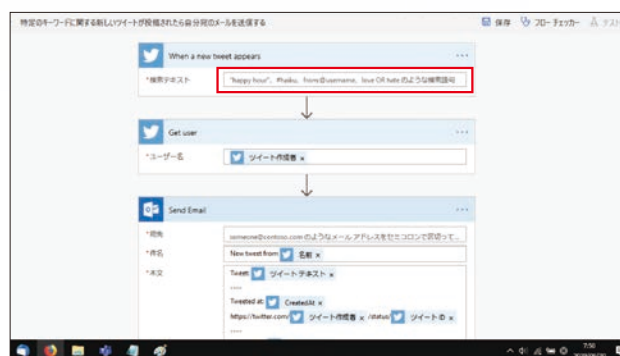
トの投稿内容をトリガーにしたフローを簡単に作成できる。例えば、「特定のキーワードに関する新しいツイートが投稿されたら自分宛のメールを送信する」というテンプレートを活用すれば、自社のサービスや競合製品に関するツイートを自動で収集すること

ができる。

Flowは、テンプレートをもとに、アクションを追加したり、分岐を設定したりすることで多様な目的に柔軟に対応できる。時間や手間のかかるルーティン業務を省力化することで、生産性向上が図れる。



Twitterをコネクタとするテンプレートも多数用意されている



キーワードとなる「検索テキスト」を入力するだけで設定は完了